



平成 30 年 2 月

平成 30 年度当初予算の概要

	ページ
1 平成 30 年度当初予算の概要	1
2 平成 30 年度当初予算総括表	9
3 平成 29 年度 2 月補正予算総括表	10

神奈川県川崎競馬組合

平成 30 年度当初予算の概要

～にぎわいのある競馬場に向けて取り組むとともに強い馬づくりを推進し、
経営基盤の強化と川崎競馬の更なる発展を目指す～

I 予算編成の基本的な考え方

- 川崎競馬経営計画に掲げた経営目標（①単年度黒字の継続と基金の着実な積立て、構成団体への配分金の安定的な繰出し②川崎競馬本場の売上・入場者数の拡大③地域社会から愛され親しまれる川崎競馬場の確立）を達成するため、計画に盛り込んだ施策に着実に取り組む。
- 賞金手当などの賞典奨励費の充実や馬主協会等の関係団体と連携した施策を推進し、川崎在きゅう馬の確保や出走率の向上を図り、強い馬づくりを推進する。
- にぎわいのある競馬場づくりに向けて、JRAファンの川崎競馬への誘客に対応するとともに川崎競馬振興策を充実して実施することにより本場売上及び本場入場者数の拡大を図る。
また、川崎競馬の持続的な発展に向け、魅力ある競走番組をはじめイベント・ファンサービスなど積極的な対応を図る。
- 川崎在きゅう馬及び所属騎手の成績の伸び悩み、小向きゅう舎の施設・設備の老朽化など、近年顕在化している川崎競馬の課題に的確かつスピード感を持って対応する。
また、競馬開催の安全と公正の確保に向けて、関係者一人一人が常にその意識を新たにし、不祥事防止に向け適正に業務を遂行する。

II 予算規模

(単位：億円、%)

区 分	平成 30 年度 当初予算額 A	平成 29 年度			対前年度比較		
		当初予算額 B	2月補正 予算額 C	2月現計 予算額D (B+C)	A/B	A/D	
予算総額	715.3	666.8	77.9	744.8	107.3	96.0	
勝 馬 上 投 金 規 模 (規 模)	川崎競馬 開催	660.0	620.0	60.0	680.0	106.5	97.1
	地方競馬 受託場外発売	220.0	170.0	52.0	222.0	129.4	99.1
	JRA 受託発売	270.0	277.0	△12.0	265.0	97.5	101.9

(注) 一千万円未満切捨てのため、合計は符合しない。

III 競馬開催等の状況

1 実施方針

- 川崎競馬開催
 - ・ 正月開催を実施する。(平成 18 年度以降 13 年連続)
 - ・ 全 13 回の開催を行う。
 - ・ 原則として、月曜日から金曜日までの 5 日間開催とし、売上が最も見込める水曜日に重賞競走を実施する。

- 地方競馬受託場外発売 ・南関東他3場(大井、船橋、浦和)の全日程を場外発売する。
・併せて、南関東他3場以外の競馬場のレースもできる限り場外発売する。
- J R A受託発売 ・J R Aの全日程を受託発売する。

2 開催日数等

区 分		平成 30 年度	平成 29 年度
川崎競馬 開催	開催回数	13 回 (10 回)	13 回 (10 回)
	開催日数	63 日 (49 日)	64 日 (49 日)
地方競馬受託場外発売		208 日 (130 日)	204 日 (116 日)
地方競馬 計		271 日 (179 日)	268 日 (165 日)
J R A受託発売		108 日 (—)	109 日 (—)
合 計		379 日 (179 日)	377 日 (165 日)

(注) () はナイター開催分を内数で示す。

IV 平成 30 年度当初予算の重点的な取組み (凡例 ⑨ : 新規事業)

1 売上及び入場者数の拡大に向けた取組み

(1) 魅力ある競走の実施

- 競走番組の充実 賞典奨励費 41 億 9,581 万円(対前年度比 3 億 2,220 万円増)
ファンの興味をひく、魅力ある競走番組を実施するため、賞金及び手当を増額するとともに、川崎らしい特色あるレースを実施する。

- ・重賞競走等の賞金引上げ 6 億 4,314 万円
戸塚記念、ロジータ記念、クラウンカップ、鎌倉記念、ローレル賞の重賞競走及び新馬戦の1着賞金の引上げを行う。

- ⑨ トライアルレース等の準重賞競走への引上げ 1 億 440 万円
川崎競馬に有力な2歳及び3歳馬のいきゅうを促進するとともに売上増加を図るため、重賞競走のトライアルレース等の1着賞金を500万円以上に引き上げ、準重賞競走化を図る。

- ・賞金配分方式の変更 20 億 2,217 万円
1着から5着までに入着した競走馬の馬主に対する賞金配分方式を1着賞金の1.8倍から1.9倍へ引き上げる。(180方式から190方式への変更(重賞及び準重賞競走を除く。))

- ・川崎在きゅう馬出走奨励金の充実 9 億 8,153 万円
川崎在きゅう馬が出走した場合の馬主に対する出走奨励金を引き上げる。(10万円→11万円)

- ⑧・地方馬のダートグレード競走への出走促進 1,122万円
地方馬全体のダートグレード競走への出走を促進するため、川崎競馬のダートグレード競走において6着から8着に入着した場合の特別着外手当を創設する。(川崎在きゅう馬が川崎競馬のダートグレード競走に出走した場合に一律30万円支給する制度も継続して実施)

- ・調教師、調教師補佐、騎手及びきゅう務員に対する奨励金の支給 3億5,811万円
各競走において調教奨励金、調教師補佐奨励金、騎乗奨励金及びきゅう務員奨励金を支給する。

- ・多彩なレースの実施

牝馬限定競走である「川崎ヴィーナスシリーズ」や川崎競馬名物の毛色を限定した競走(くろうま賞(青毛、青鹿毛、黒鹿毛限定)、ホワイトクリスマス賞(白毛、芦毛限定)、ゴールデンホース賞(栗毛、栃栗毛限定))を実施する。

また、短距離競走(900m)である「川崎スプリントシリーズ」を体系的に実施するとともに、長距離競走(2000m・2100m)も実施し、距離の多様化を図る。

さらに、佐々木竹見カップジョッキーズグランプリ、川崎ジョッキーズカップに加え、騎手の選抜競走として平成29年度から開始された全国の地方競馬主催者及び日本中央競馬会が共同で実施するヤングジョッキーズシリーズのトライアルラウンドを実施する。

- 川崎競馬の魅力向上に向けた強い馬づくり 3億1,273万円(対前年度比8,304万円増)
川崎競馬の魅力を高め、売上や入場者数を拡大するため、強い馬づくりや川崎在きゅう馬の頭数確保、川崎競馬所属騎手の騎乗技術向上に向けた施策等を積極的に実施する。

- ・川崎競馬場所属騎手の騎乗機会向上対策の充実 4,293万円
川崎競馬場において川崎在きゅう馬に川崎競馬場所属騎手を騎乗させた場合の馬主に対する奨励金を引き上げる。(5,000円→10,000円)

- ・川崎在きゅう馬確保及び出走率向上対策の充実 1億750万円
川崎競馬場において川崎在きゅう馬を出走させた場合の馬主、調教師、調教師補佐、騎手、きゅう務員に対する特別競走(重賞競走を含む。)に係る特別報奨金について、一般競走と同様に入着した場合に支給する。

- ・馬主協会奨励馬事業費補助の充実 1億5,000万円
神奈川県馬主協会が実施する川崎競馬に出走させる目的で2歳馬及び3歳馬を在きゅうさせる馬主に奨励金を支給する事業に対し助成する。
また、2歳馬の補助額を充実する(1頭当たり60万円→100万円)とともに、せりによる高額購入馬に対する補助については補助対象頭数を拡大する。(15頭→20頭)

- ・競走馬育成施設等活用補助の充実 1,230万円
川崎在きゅう馬を坂路等を有する外部の育成施設等に預けて調教を行う場合の施設使用料、

馬輸送経費等について馬主に助成する事業について、対象頭数の充実を図る。(10頭→15頭)

(2) 広報・ファンサービスの充実

- 積極的な広報の展開 広報宣伝費 6億1,614万円 (対前年度比7,095万円増)
川崎競馬開催の広報はもとより、WINS川崎の認知度を向上させることで川崎競馬の売上及び入場者数の拡大を図るため、様々な媒体を積極的に活用し広報を展開する。

〈(新)新規事業〉

- ・川崎競馬公式WEBサイトの抜本的なリニューアル 2,138万円

〈充実強化事業〉

- ・開催PRのための広報誌の充実
- ・JR川崎駅及び京急川崎駅の構内広告の充実
- ・電車内中吊り広告のワイド版の活用
- ・tvkテレビCM放映の拡充 (3回→13回)
- ・本場への誘導促進等に向けた川崎競馬WEB広告の配信
- ・本場開催におけるLINE@お友達登録会の拡充 (10開催→13開催)

- 魅力あるファンサービスの実施

ファンサービス費 3億2,017万円 (対前年度比1,988万円増)

川崎競馬本場及びWINS川崎の入場者数の拡大と売上の増進を図るため、魅力あるファンサービスを実施する。

〈(新)新規事業〉

- ・WINS川崎におけるおみくじ馬券発売等イベントの実施 1,006万円

〈充実強化事業〉

- ・本場開催における競馬コンシェルジュの充実 (2～3人→4～6人)
- ・ファミリー層向けや馬とのふれあいイベントの充実
- ・ダートグレード競走施行開催及び正月開催における場内装飾の実施
- ・貴賓室の有効活用に向けたサービスの充実及び旅行会社等との連携
- ・本場開催におけるおみくじ馬券発売回数拡大 (2回→14回)

〈重点事業〉

- ・飲食、物産展など、にぎわいのある競馬場づくり事業の実施 3,305万円

本場開催への来場を促進し、さらなるにぎわいのある競馬場に向けて、本場のナイター最終日から週末のWINS川崎営業日にかけて連続3日間のイベントや県内地域と連携した物産展などを実施し、新規ファンの獲得やJRAファンの川崎本場の来場につなげる。

(3) 「川崎から世界へ」に向けた対応

ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピックを控え、川崎競馬をより世界にアピールできるよう、国際化に向けた取組を推進する。

- ⑨○ 国際交流競走出走馬輸送関係費 4,195 万円
全日本 2 歳優駿競走が米国 G I 競走のケンタッキーダービーのポイントレースに選定されるとともに国際競走として実施するため、外国馬の受入、輸送、関係者招待業務、要領細目外国語版の作成を行う。

- 全日本 2 歳優駿競走開催時の場内装飾の実施（再掲） 540 万円
全日本 2 歳優駿競走開催時にケンタッキーダービーとの連携を図るため、場内装飾により開催を盛り上げる。

- オーストラリアにおける川崎競馬の馬券発売に伴う収入 1,015 万円
オーストラリアにおいて川崎競馬の馬券を発売することに伴い、川崎競馬のレース映像をオーストラリア向けに提供することによるライセンス料を収入として計上する。

- ⑨○ 外国人来場客への対応 54 万円
1 号スタンドの貴賓室を利用する外国人グループ客の求めに応じて通訳者を配置する。

(4) 川崎競馬場の場内環境等の改善

- 業務エリアのリニューアル 施設賃貸借料 20 億 1,096 万円の一部及び特別負担金 8.5 億円
競馬開催における安全と公正の確保を図るため、昨年度に引き続き業務エリアや走路などの施設整備を行う。

(主な整備内容)

- ・ 1 号スタンド及び周辺施設：新検量棟の建設、エレベータの増設（2 基）、医務室の移設
- ・ 走路：2 コーナー外馬待避所の拡張

- 設備の更新及び機能拡充 2 億 5,622 万円
老朽化している表示装置系ネットワーク機器、投票所発売端末用ブレーカー等、駐車場精算機を更新する。また、代表電話番号の音声ガイダンス化を図る。

(5) 経営計画の推進

- 経営計画推進事業費 400 万円
経営計画に基づく取組みを着実に進めるため、施策化に向けたアンケート調査を行う。

- 職員提案事業推進費 1,000 万円
職員からの提案事業について、効果が認められる場合にはスピード感をもって実施するため、必要な経費を一括して予算計上する。

2 経営の効率化・安定化に向けた取組み

(1) 民間活力の活用推進

- 業務の一部委託化 1,943 万円
更なる経営の効率化に向けて、新たに勝馬投票券発売業務、着順決定補助業務、賞金等支払業務などの一部を委託化する。

- ① ○ タブレット端末の活用 542 万円
ペーパーレス化に向けた取組を推進するとともに、開催中における情報共有と迅速な事務処理に対応できるようタブレット端末の活用を図る。

(2) 設備等整備基金の積立てと活用

新たに策定する「川崎競馬施設・設備整備計画」に位置付けられた、本場や小向きゅう舎の設備整備、地方競馬における強い馬づくりや本場入場者の増に資する施設整備を計画的に実施していくため、設備等整備基金の積立て及び活用を行う。

- 積立て 29 年度 2 月補正予算 25 億円、30 年度当初予算 10 億円
- ① ○ 取崩しによる活用 3 億 5,000 万円
(主な整備内容)
 - ・ スタンド：1 号スタンド 3 階の改修
 - ・ 内馬場：サンサン広場に大型ビジョン設置、同広場の芝生化
 - ・ 小向きゅう舎：馬房環境向上のための冷房設備の設置

3 公正で安全な競馬の着実な実施に向けた取組み

- (1) きゅう務員確保対策事業費補助 4,058 万円
きゅう務員を確保するため、調教師会が支給するきゅう務員のボーナスに対する補助額の充実に図るとともに調教師の負担軽減を図る。

(2) 競馬開催における安全と公正の確保

禁止薬物陽性馬の発生防止対策を徹底するとともに、認定きゅう舎（外きゅう）の立入検査など、公正確保対策を強化する。

- 薬物検査の適正な実施 1,548 万円
レース実施後に対象となる競走馬の薬物検査に加え、川崎在きゅう馬競技外検査及び川崎所属騎手ドーピング検査を適切に実施する。
- ① ○ 能力調教試験における枠服の貸与 43 万円
能力調教試験実施時に競走馬が明確に判別できるよう、川崎競馬所属騎手に枠服（枠番によって服色が決められている勝負服）を貸与する。

- 競走馬輸送運賃の補助 2億4,104万円
競走馬輸送における人員確保、環境負荷低減への設備投資等に対応するため、輸送運賃の充実を図る。

4 地域社会との連携・協調の推進に向けた取組み

(1) 地域社会から愛され、親しまれる川崎競馬場づくりの推進

ファミリー層向けやWINS川崎営業時のイベントを充実するとともに、構成団体や県内市町村、地元企業等の協賛レースを増やし、地域社会との連携を強化する。

- ・市町村協賛レース
- ・内馬場の遊具の新設

(2) 災害対策の強化

- 災害用備蓄品の購入 54万円
大規模地震等の発生に伴う地域住民の一時避難対策及び来場者の帰宅困難対策のため、備蓄物資（毛布、食料等3,000人分）の保存期間満了に伴う更新を行う。

- ⑨○ 外部データセンターの活用 997万円
災害時にも業務を継続することができるよう、外部データセンターを活用したサーバーシステム環境を整える。

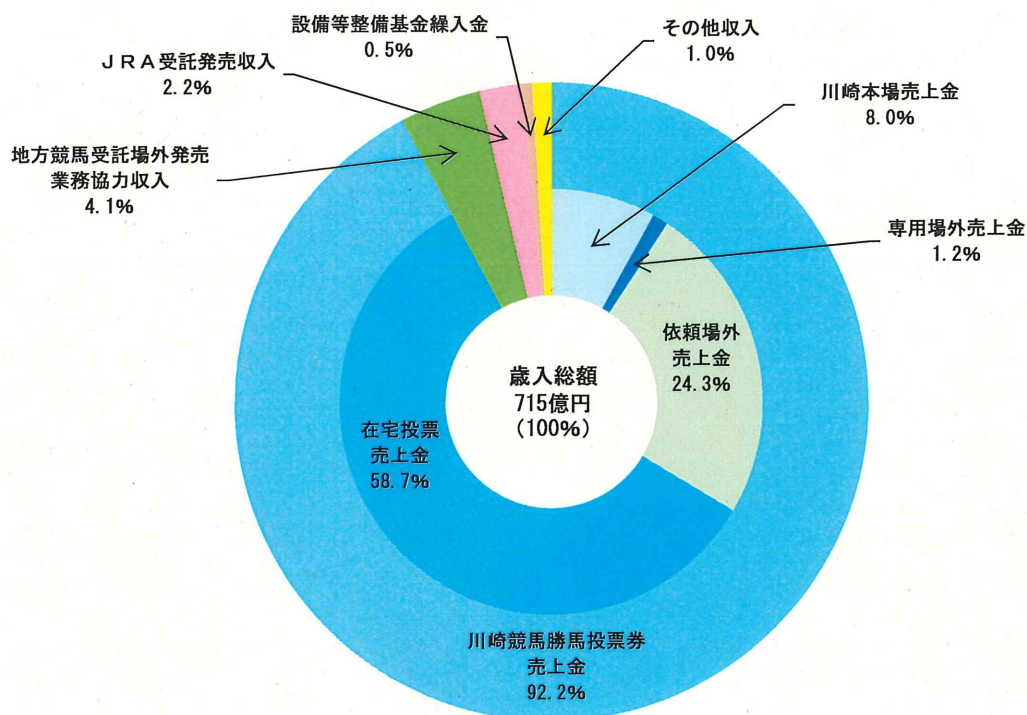
- (3) 県畜産会補助金 360万円
県畜産会の畜産品普及啓発事業等に対し助成するとともに、同会と連携し畜産関連イベントでの広報、ファンサービス品の提供等を実施する。

(4) 構成団体への収益配分金の増額

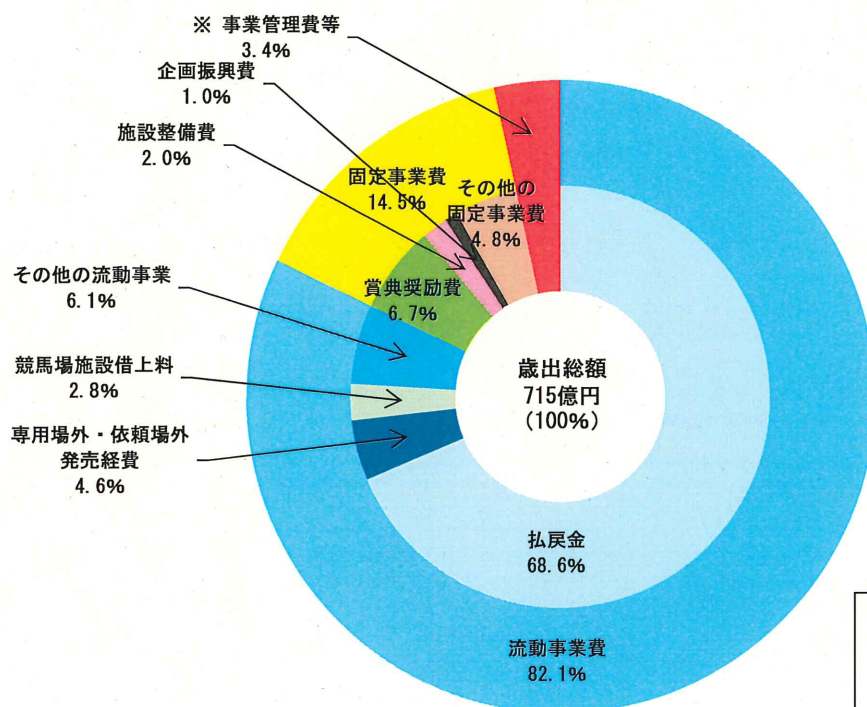
地方財政に寄与するため、神奈川県と川崎市への収益配分金の繰出金を増額する。
4億5,000万円（神奈川県3億円、川崎市1億5,000万円）

(参考) 平成30年度当初予算 歳入・歳出の内訳

【歳入】



【歳出】



※ 事業管理費等 内訳	
事業管理費等	1.0%
設備等整備基金積立金	1.4%
経営安定化基金積立金	0.0%
構成団体繰出金	0.6%
予備費	0.4%
計	3.4%

平成30年度当初予算総括表

【歳入】

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比較増減	
	当初予算額A	構成比	当初予算額B	構成比	A - B	A/B
川崎競馬勝馬投票券売上金	66,000,000	<100.0> 92.2	62,000,000	<100.0> 93.0	4,000,000	106.5
川崎本場売上金	5,742,000	<8.7> 8.0	5,580,000	<9.0> 8.4	162,000	102.9
専用場外売上金	847,000	<1.3> 1.2	797,000	<1.3> 1.2	50,000	106.3
依頼場外売上金	17,424,000	<26.4> 24.3	18,660,000	<30.1> 28.0	△1,236,000	93.4
在宅投票売上金	41,987,000	<63.6> 58.7	36,963,000	<59.6> 55.4	5,024,000	113.6
地方競馬受託場外発売業務協力収入	(22,000,000) 2,917,294	4.1	(17,000,000) 2,154,427	3.2	(5,000,000) 762,867	(129.4) 135.4
J R A受託発売収入	(27,000,000) 1,565,321	2.2	(27,700,000) 1,603,862	2.4	(△700,000) △38,541	(97.5) 97.6
設備等整備基金繰入金	350,000	0.5	-	-	350,000	皆増
その他収入	702,385	1.0	923,711	1.4	△221,326	76.0
計	71,535,000	100.0	66,682,000	100.0	4,853,000	107.3

(注1) < >内は川崎競馬勝馬投票券売上金の構成比を示す。(注2) ()内は受託発売にかかる売得金額を示す。

【歳出】

区 分	平成30年度		平成29年度		比較増減	
	当初予算額A	構成比	当初予算額B	構成比	A - B	A/B
流動事業費	58,676,374	82.1	55,123,347	82.7	3,553,027	106.4
払戻金	49,047,469	68.6	45,930,000	68.9	3,117,469	106.8
地方競馬全国協会交付金	914,250	1.3	858,250	1.3	56,000	106.5
地方公共団体金融機構納付金	250,000	0.4	250,000	0.4	-	100.0
専用場外発売費	515,432	0.7	499,562	0.7	15,870	103.2
依頼場外業務協力費	2,794,316	3.9	2,995,331	4.5	△201,015	93.3
競馬場施設借上料	2,010,960	2.8	2,013,843	3.0	△2,883	99.9
その他の流動事業費	3,143,947	4.4	2,576,361	3.9	567,586	122.0
固定事業費	10,358,828	14.5	9,260,255	13.9	1,098,573	111.9
競馬場施設管理費	491,153	0.7	470,074	0.7	21,079	104.5
賞典奨励費	4,778,645	6.7	4,357,987	6.5	420,658	109.7
企画振興費	686,726	1.0	599,543	0.9	87,183	114.5
地方競馬受託場外発売運営費	279,327	0.4	255,522	0.4	23,805	109.3
J R A受託発売費	485,312	0.7	472,245	0.7	13,067	102.8
施設整備費	1,456,215	2.0	933,328	1.4	522,887	156.0
その他の固定事業費	2,181,450	3.0	2,171,556	3.3	9,894	100.5
事業管理費等	748,308	1.0	637,560	1.0	110,748	117.4
設備等整備基金積立金	1,001,040	1.4	1,000,688	1.5	352	100.0
経営安定化基金積立金	450	0.0	150	0.0	300	300.0
構成団体繰出金	450,000	0.6	360,000	0.5	90,000	125.0
予備費	300,000	0.4	300,000	0.4	-	100.0
計	71,535,000	100.0	66,682,000	100.0	4,853,000	107.3

平成29年度 2月補正予算総括表

【歳入】

(単位:千円)

区 分	予算現計額A	2月補正予算額B	2月現計予算額A+B
川崎競馬勝馬投票券売上金	62,000,000	6,000,000	68,000,000
川崎本場売上金	5,580,000	133,000	5,713,000
専用場外売上金	797,000	10,000	807,000
依頼場外売上金	18,660,000	△397,000	18,263,000
在宅投票売上金	36,963,000	6,254,000	43,217,000
地方競馬受託場外発売業務協力収入	(17,000,000) 2,154,427	(5,200,000) 743,054	(22,200,000) 2,897,481
J R A受託発売収入	(27,700,000) 1,603,862	(△1,200,000) △64,117	(26,500,000) 1,539,745
前年度からの繰越金	-	1,133,713	1,133,713
その他収入	923,711	△13,457	910,254
計	66,682,000	7,799,193	74,481,193

(注) ()内は受託発売にかかる売得金額を示す。

【歳出】

区 分	予算現計額A	2月補正予算額B	2月現計予算額A+B
流動事業費	55,123,347	5,266,827	60,390,174
払戻金	45,930,000	4,745,600	50,675,600
地方競馬全国協会交付金	858,250	84,000	942,250
専用場外発売費	499,562	3,613	503,175
依頼場外業務協力費	2,995,331	△55,250	2,940,081
競馬場施設借上料	2,013,843	22,935	2,036,778
地方公共団体金融機構納付金	250,000	△171,836	78,164
その他の流動事業費	2,576,361	637,765	3,214,126
固定事業費	9,260,255	51,618	9,311,873
競馬場施設管理費	470,074	3,954	474,028
賞典奨励費	4,357,987	25,590	4,383,577
企画振興費	599,543	△30,269	569,274
地方競馬受託場外発売運営費	255,522	△9,474	246,048
J R A受託発売費	472,245	△38,357	433,888
その他の固定事業費	3,104,884	100,174	3,205,058
事業管理費等	637,560	△19,252	618,308
設備等整備基金積立金	1,000,688	2,500,000	3,500,688
経営安定化基金積立金	150	-	150
構成団体繰出金	360,000	-	360,000
予備費	300,000	-	300,000
計	66,682,000	7,799,193	74,481,193